稗史　文政七甲申年

三國白狐傳　三冊作　二冊

歌三味喙東引松　志滿作　二冊

廣隆

無聲詩堂蔵

13
2378
102

遠13
2378
102

鶴賀柳亭種彦作
歌川國直画
櫻屋小七 藤井
忠孝兩岳覽

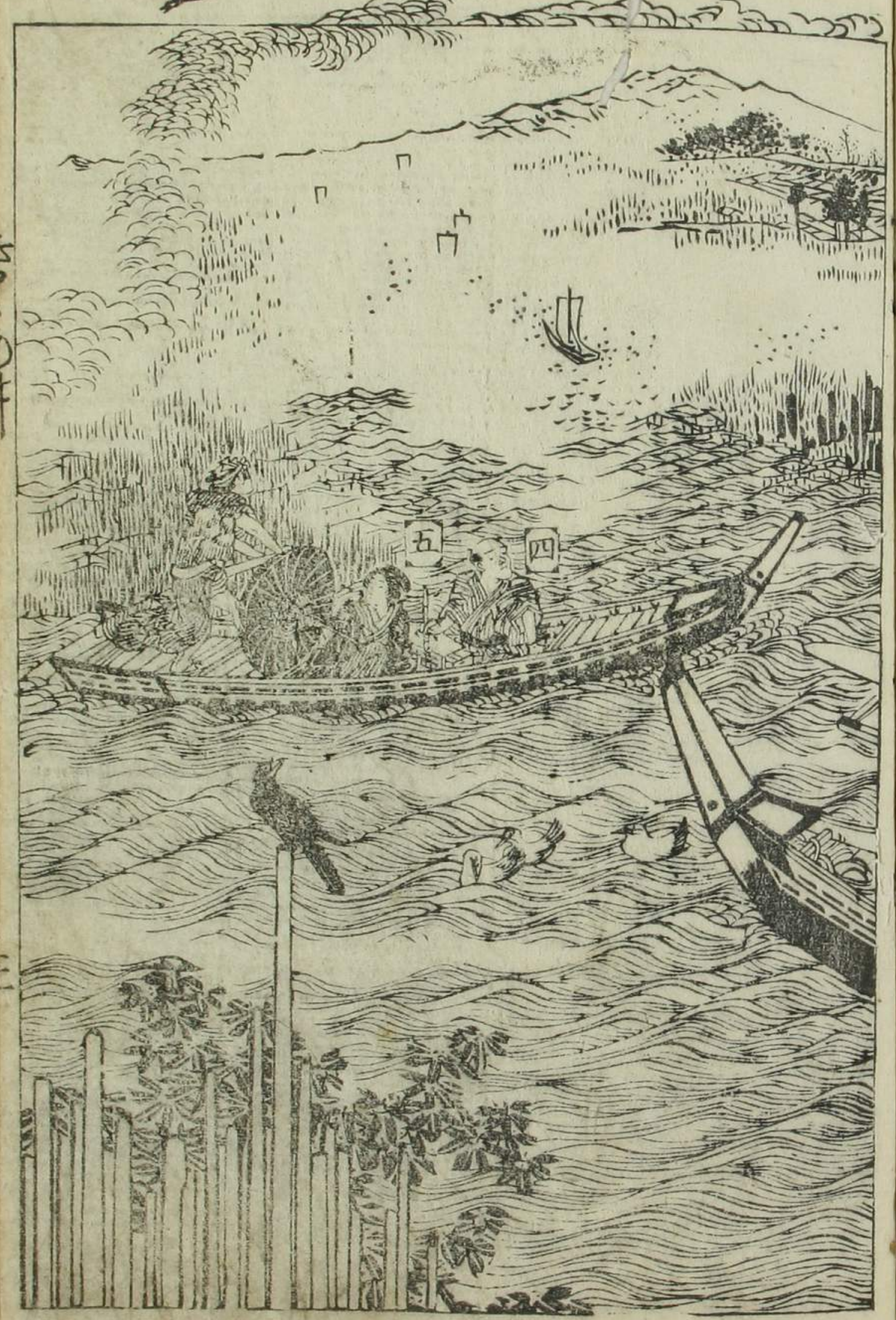
文政壬午
初春賣出
前後六冊

細字上
よこ本

製本所
馬喰町二丁目角
西村屋与八版

歌の井
妹
濱吉

鎌倉
雪乃
下の
藝者
歌の井


五
四

相州鎌倉
ちかつ川
遠望の図
六
三
二

前の画中と合印の番づけ

一

相州鎌倉細物の問丸
櫻屋小七

藝者菊の井
重出

見石

二

當世男

蛇之鮓

曽我 貞清
月
菊や 貫

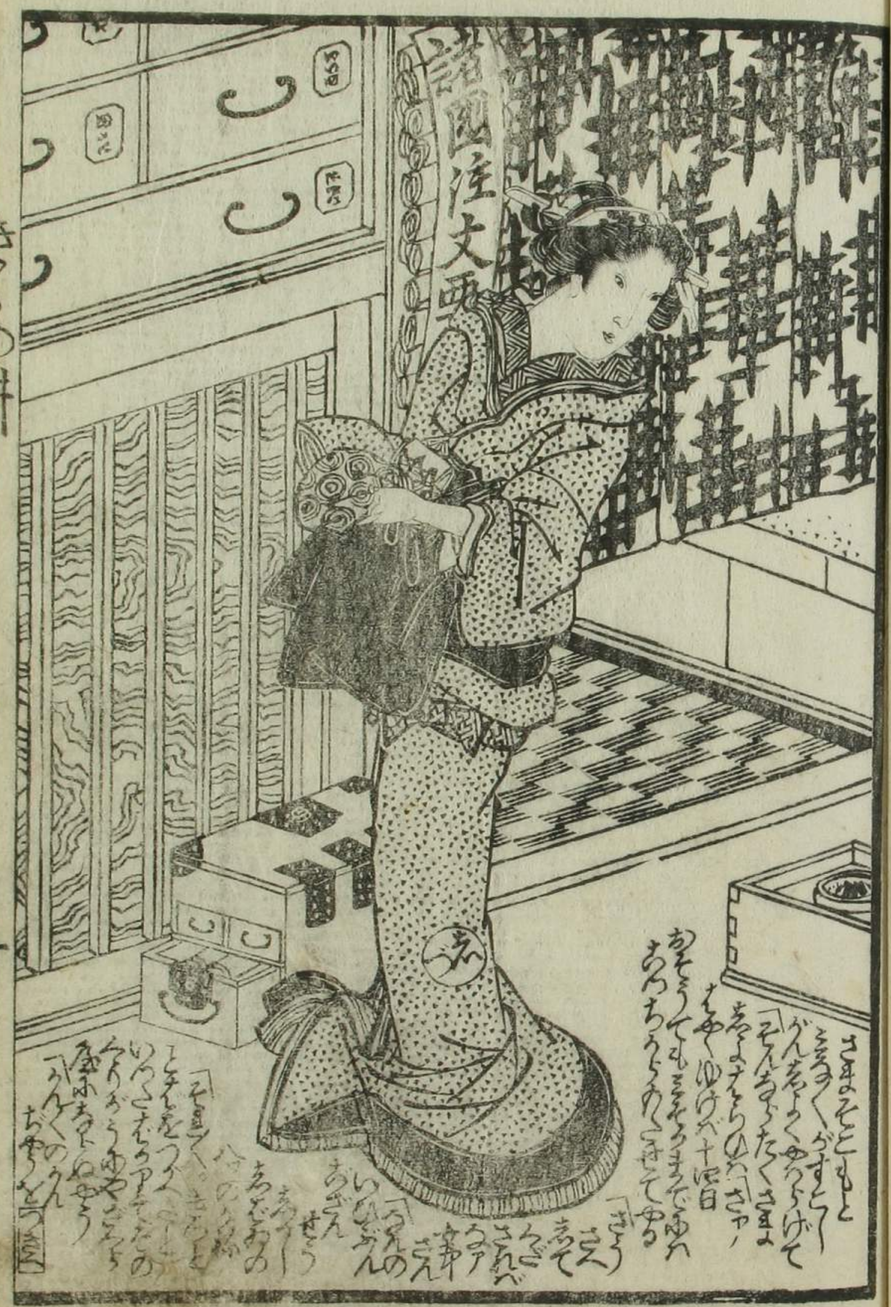
前の山水の人物の撰
ふくらび画す

三

沈牡丹の火舎
室住の家中
三角沼藏

六
櫻屋露左衛門の女房
阿佐満
富士石
ちよに婦往ちよ
ちよに牡丹や
絆表紙
調知
四
櫻屋の番頭
他九郎
前の絵の続き弐
あひちよ
合て
菊の井の妹
濱吉
再出
芝看
似春
五

小間物
雛小
みん
ぎやう

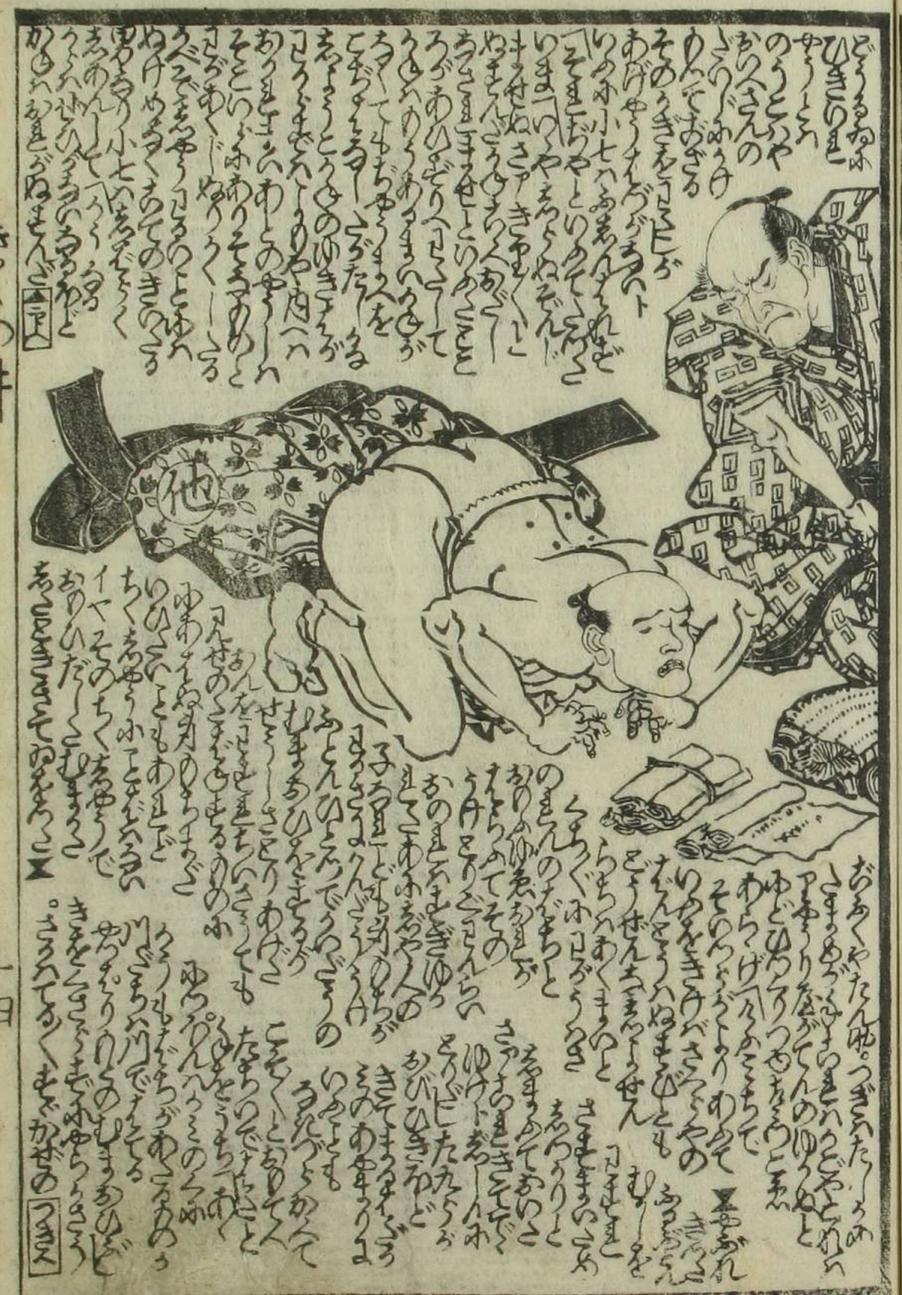


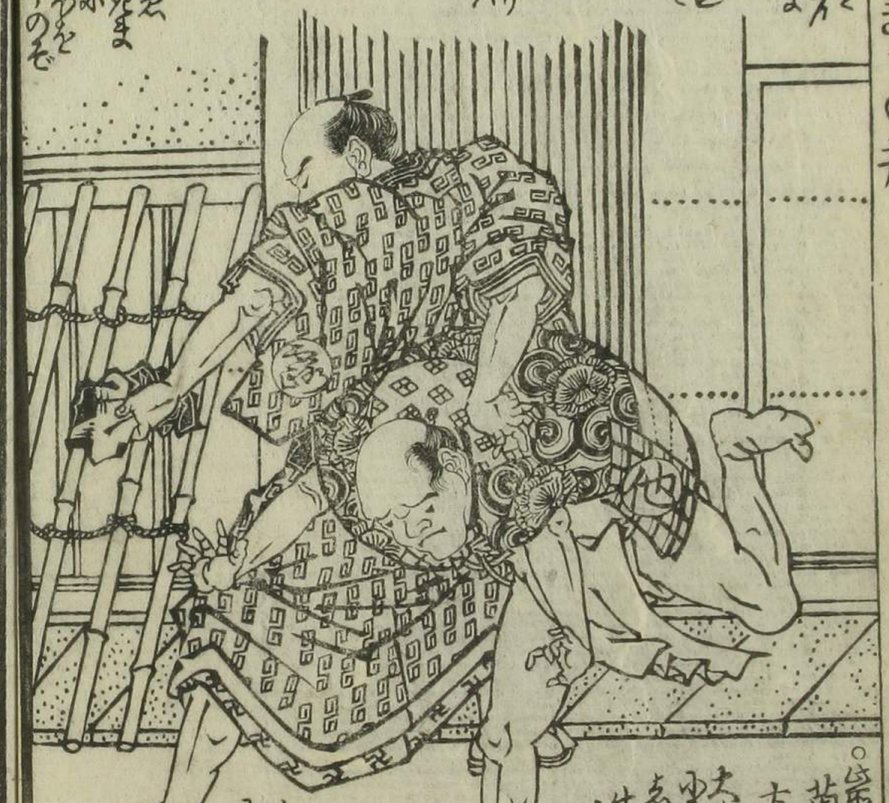
海上安
弘治三年
正月吉日

小

小
8
8

小


他



つゞき

○蘭ぎく せう
方 王屑

柳亭種彦作

筆耕千形仲道

歌川國直画

諸民通用 手紙文言 蓬池堂 書 中本一冊 近刻 十返舎 案

頭書萬用 婦人手紙文言 鱗泉堂 書 中本一冊 案 十返舎 案

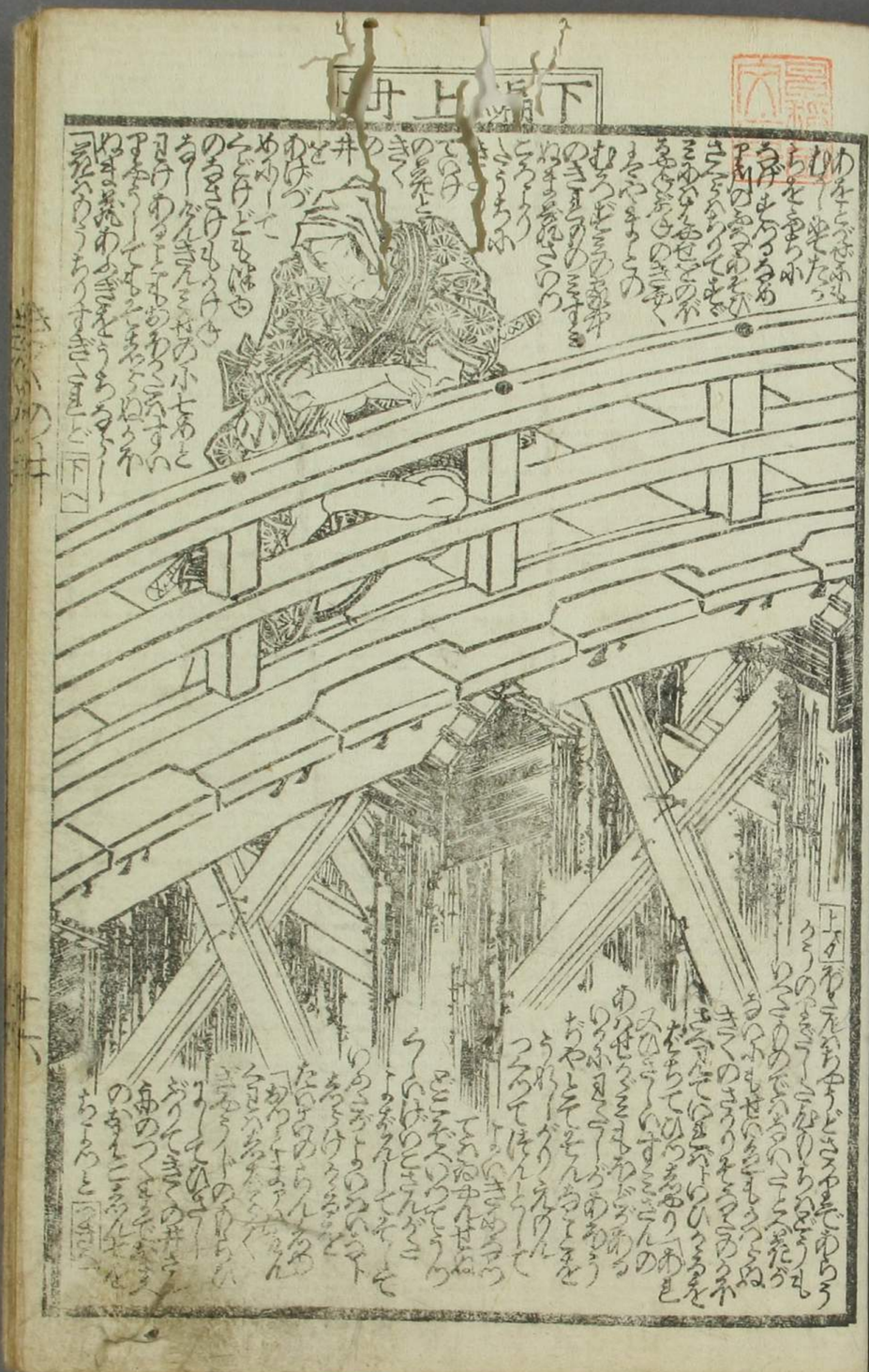
懷中早引 寺子節用集 中本一冊 案

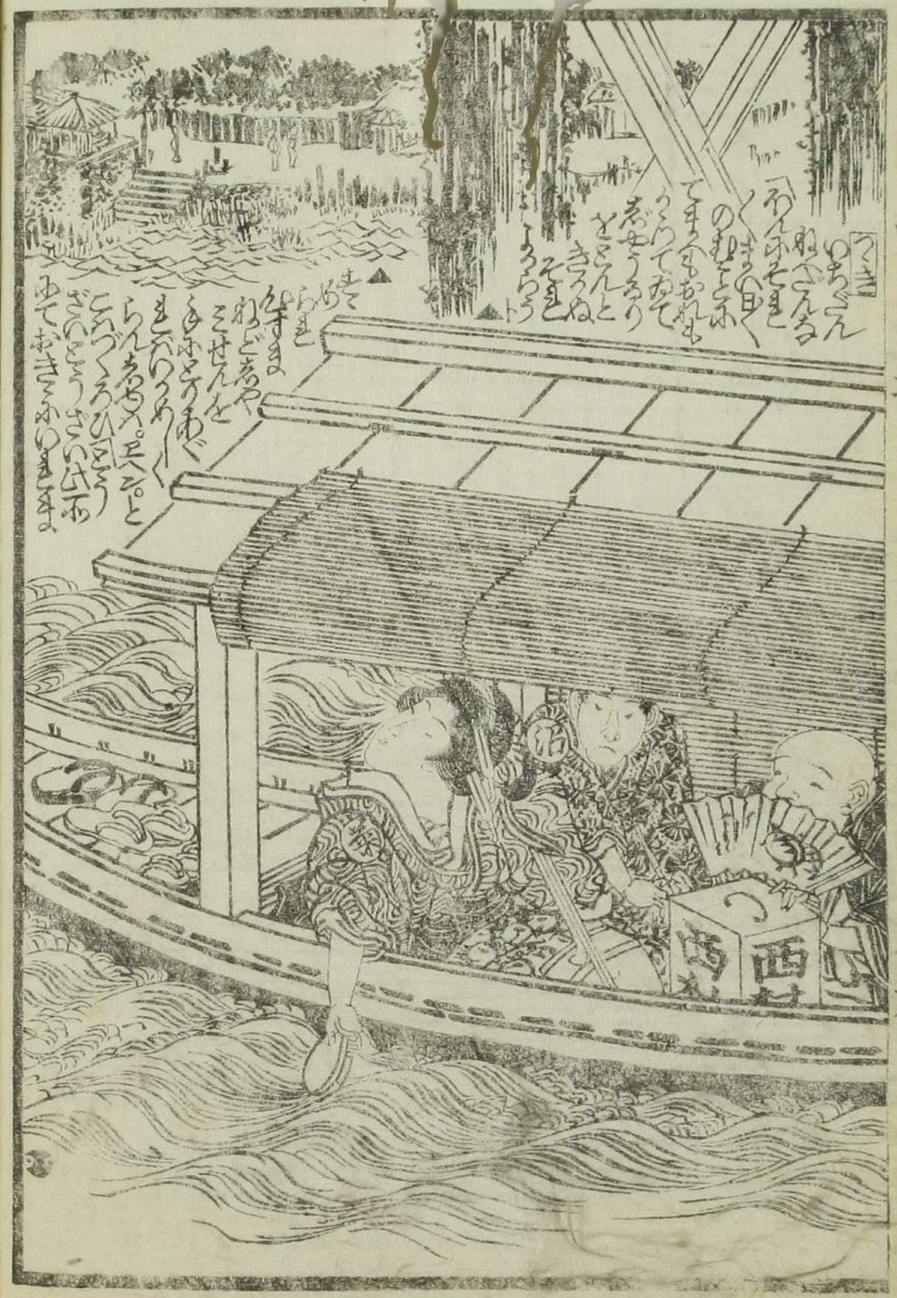
白澤避怪圖 宋紫石 画 博物一幅 東江源 鱗 書

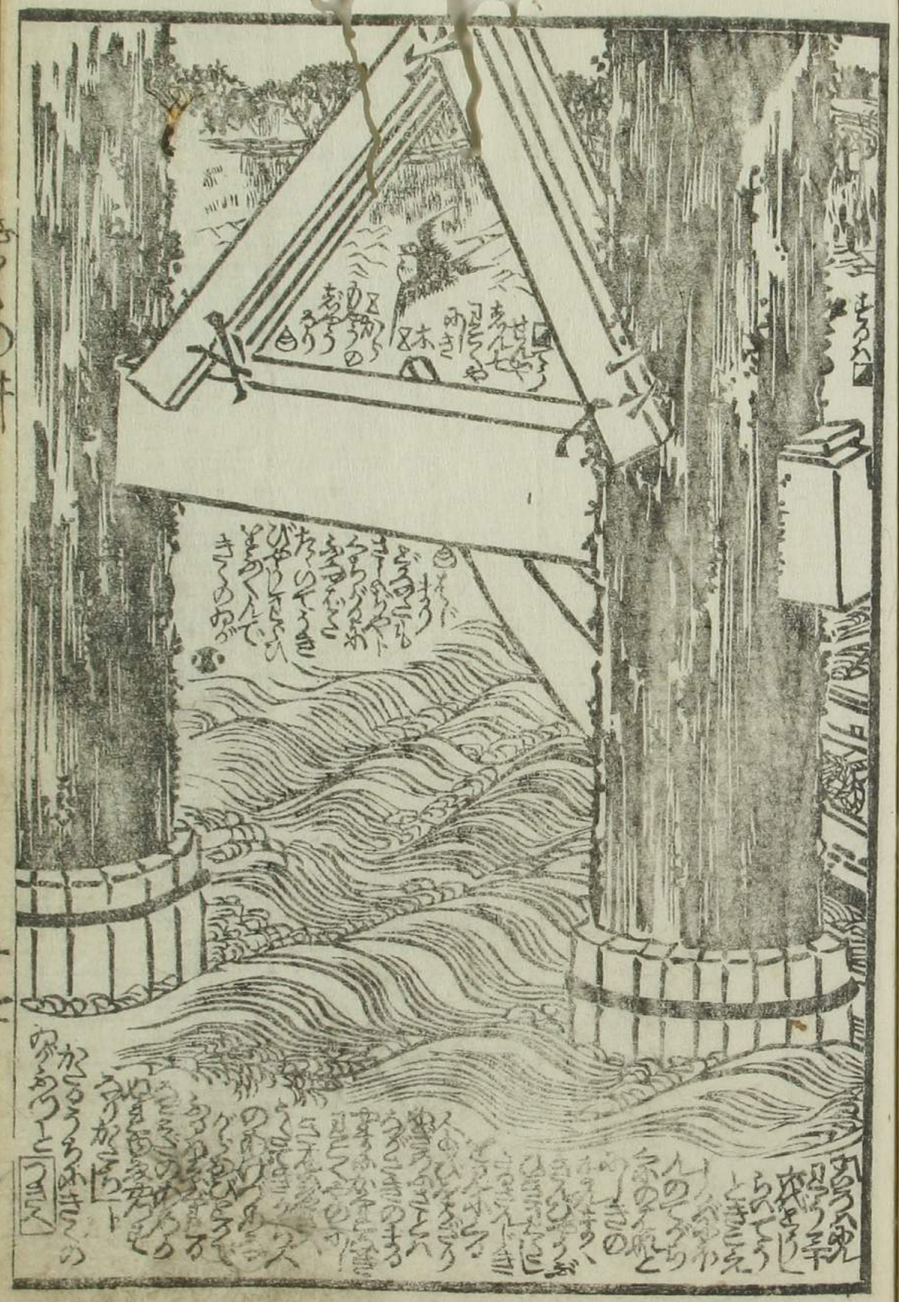
壽百人一首 操鏡 中本一冊 案 女用文見女教訓書入

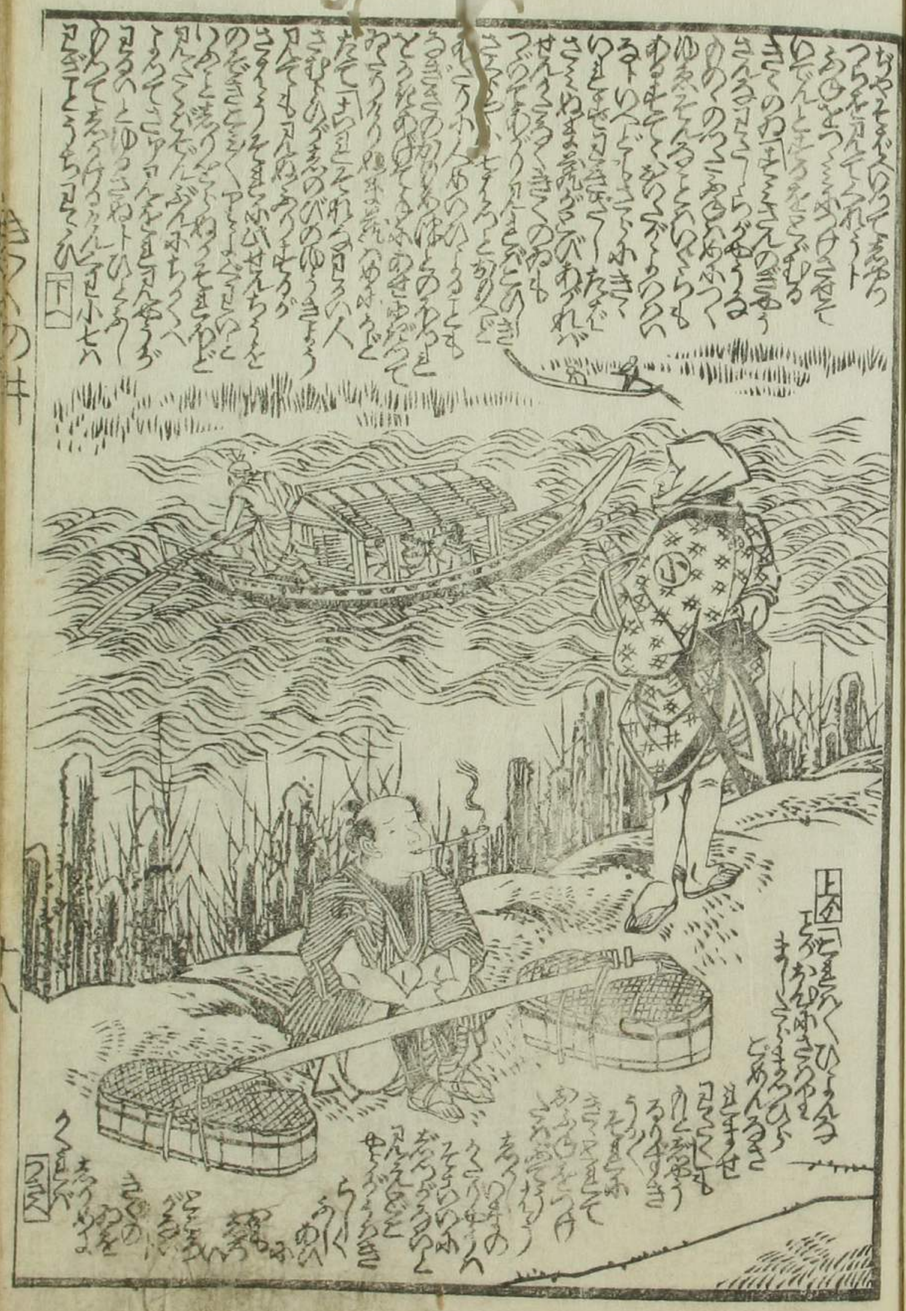
右板のく 出板仕ハれ之至ニの本屋日ゆく

書林 江戸馬喰町二丁目 永壽堂 西村屋與八 板





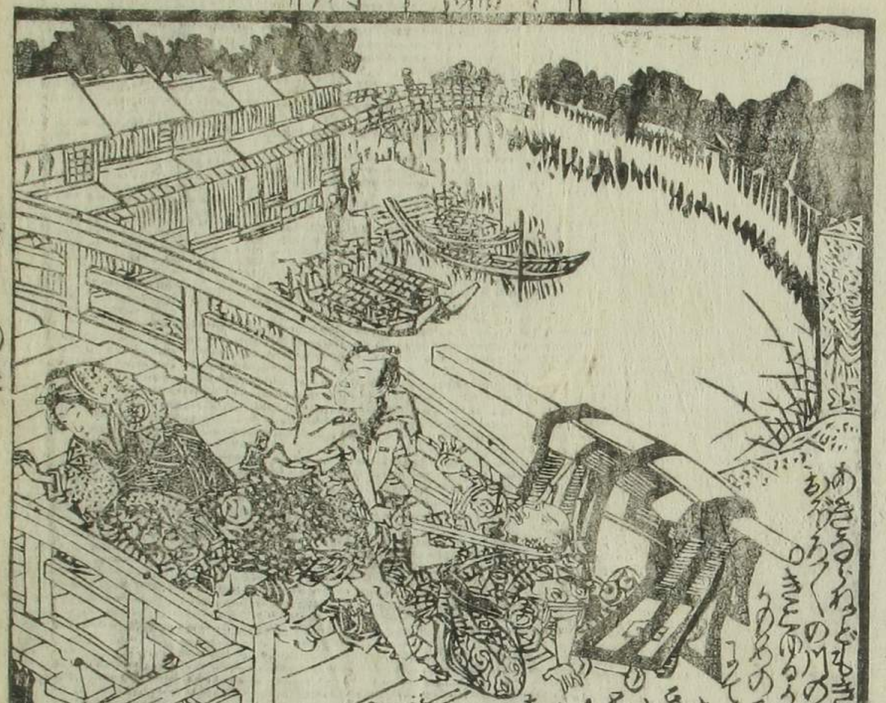


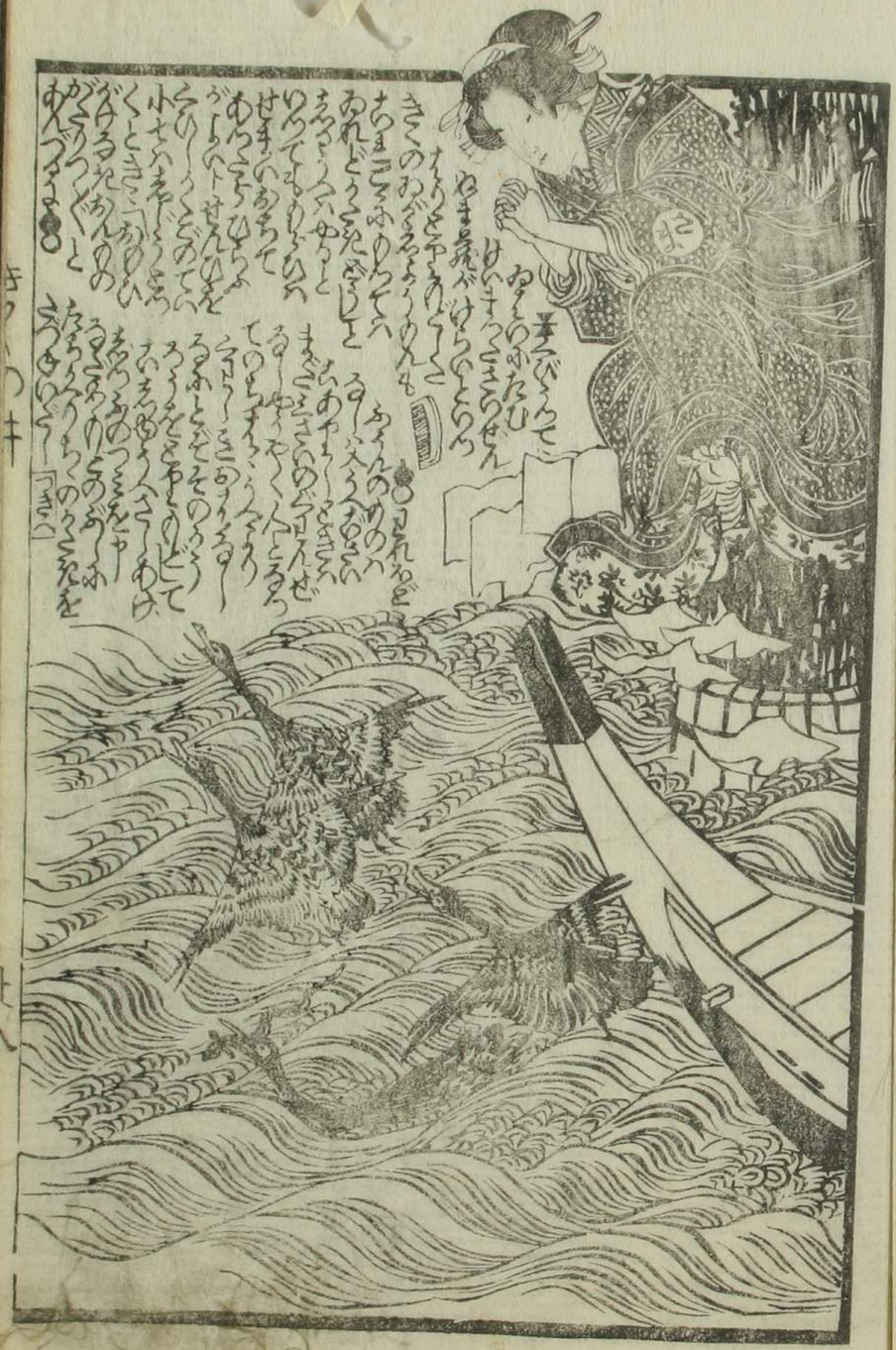


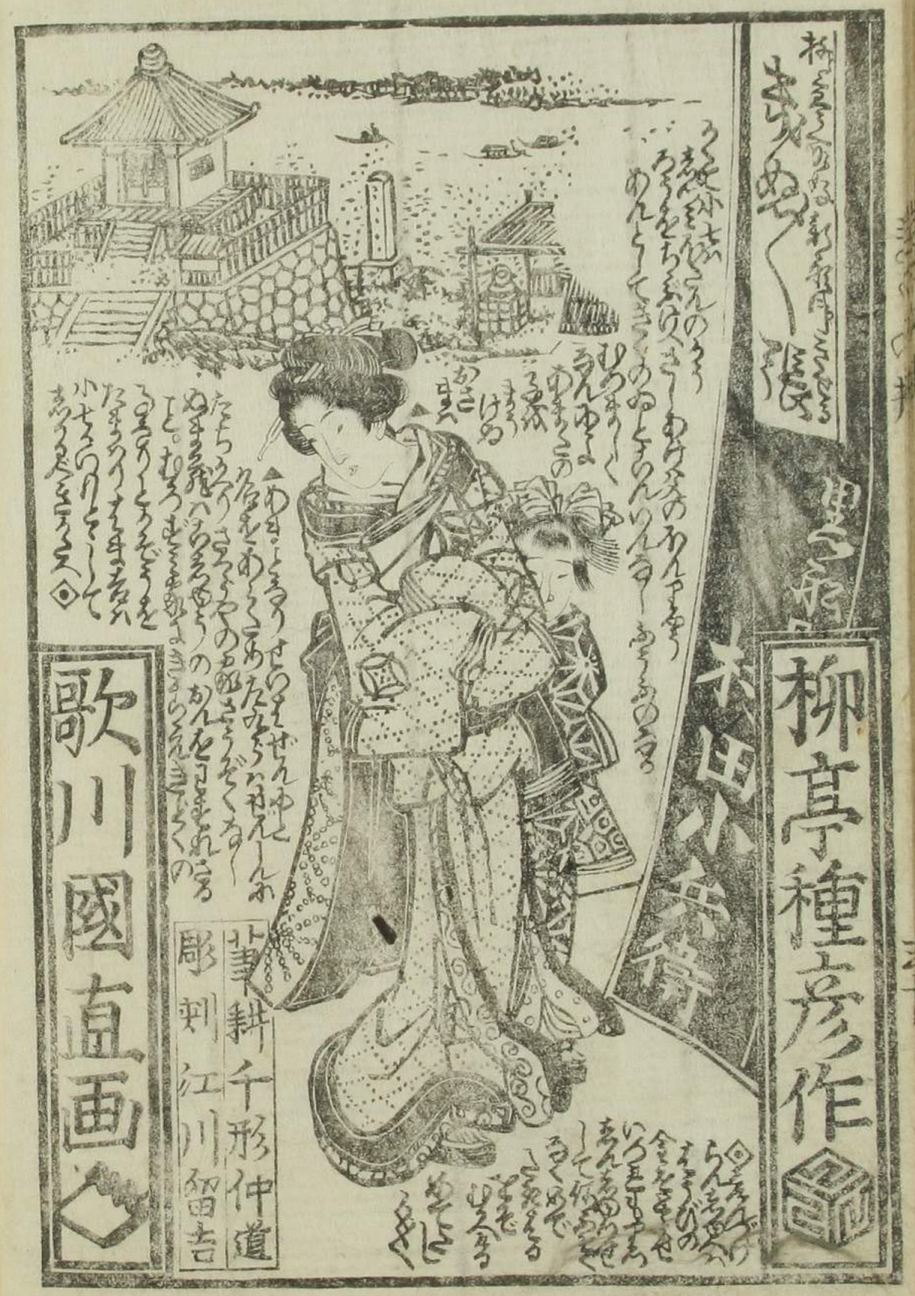
山ばら
そば
ん
菓子
小七

小

貴







御かぐはし 妙薬 美艶仙女香 一包 四拾八文

此薬手元に来る事十一年廿一番乃船を伊勢屋九兵衛
清洲人長清 偶々の時 九山の逆江屋の遊女翠野ふ
換くる顔の美しき奇方を傳へ聞く清洲の産 宮戸の
婦人常に此薬を用ひ給へる故 世に稀なる美人多し
其名高ふ伝へ聞く此度世に弘めの為 今世上ふ顔
の美と称せるものの中にあり 遠ハいざ知らず 江戸
世上の顔の美人 別種の奇効 能 左ふ

▲[illegible]
▲できるめくすり成さあく治法▲いもがはに男て毒をといも[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]一切のできものにつかう
ぬりぐすり　殷のられ[illegible]

調合賣弘所　江戸　坂本氏

以右の[illegible]

上

文政壬午　新絵草紙

浮世一休花街問答　全六冊　柳亭種彦作　歌川豊國画

菊の井小七　孝貞西岸一覽　全六冊　柳亭種彦作　歌川國直画

義勇の拵言　女丹前　全四冊　志満山人作　歌川國信画

小糸佐七　小糸總糸　全三冊　南杣笑楚満人作　歌川國直画

正本製難波家土産　全六冊　柳亭種彦作　歌川國貞画

美艶仙女香　一包四十八錢　[illegible]

賣弘所　江戸神田白壁町二丁目角　永寿堂　西村与八板行